

報告**天文同好会サミット 2010 を振り返り****～学生の冬の陣から社会人へ向けて～**

鈴木 隆之（冬の陣 20 周年記念誌編集長→日本天文愛好者連絡会総務事務担当）

1. はじめに

2010年4月16日～17日に、東京三鷹の国立天文台に於いて「天文同好会サミット2010」が行われました。この催しは、アマチュアとして天文活動する人を対象に、世界天文年で活動したアマチュア同士の繋がりやネットワークを次に繋げていくために、世界天文年 2009 日本委員会の主催で開かれた集会です。

私は、このイベントにパネリストとして参加しました。学生アマチュアの「同好会サミット」に相当する「天文冬の陣」やその他学生アマチュア交流の場で活動していた人物として招待を受け、徳島大学天文部前部長で本年度の第 22 回天文冬の陣実行委員長の山田大輔君と共に登壇することになりました。

このサミットに対する反響は天文界(主としてアマチュアの)に於いて大きく、いろいろな媒体で報告文が掲載されております。

本当なら当日の様子を詳細に記述しなければならない所ですが、客観的な報告はそういった他紙に譲り、本文では、私の立場から一パネリストとしての思い出を中心に書きすすめて参ります。

2. パネリストとしてサミットに参加して

初日にあったパネリストの発表の際、私達は次の様なメッセージを伝えました。

まず私から、冬の陣の 20 周年記念誌の編集作業を通じ、大先輩から伝え聞いた冬の陣 20 年の歴史を紹介しました。その後「大学院生になった後も、私は後輩たちの中に入り、天文を専門に学ぶ年の近い先輩として出来る

ことをしていこうと色々活動した。この三月に自分が学部 4 年生の時に入学した 1 年生が卒業してしまい、もう私も若手と呼べなくなったと思う。これを機に冬の陣から完全引退をしたい。冬の陣と学生交流の未来は、次の冬の陣を担う山田君に話してもらいたい。」と山田君にマイクを渡しました。

山田君は、次期冬の陣や学生の活動についての今後の抱負を語りました。さらに、徳島大学天文部が地域で行った天文普及活動が社会人の協力のもとに行われた事を伝えて、学生と社会人がともに交流できる「天文が好きなもの同士が知り合える機会」を作ることを提唱しました。

山田君からマイクを再びバトンタッチされた私は「自身は研究者の道を目指しつつ、これからも自らが出身とするアマチュア天文の世界とは縁を保ちたいと思っている。」「世界天文年に於ける活動では、アマチュア同士の横のつながりやプロ・アマ連携しての天文普及活動が取り沙汰された。今後もそのようなものが更に発展していくことを望んでいる。」と社会人のアマチュア天文の世界での活動継続の意思を伝えました。そして、自らの経験や先輩方からの口伝を踏まえ、社会人の交流の今後への提案として「ネット全盛の時代でも逢って話す交流の機会を大切にしたい。」と熱く語り、同好会サミットの後継イベントの有志による自主開催を呼びかけました。

私の他に、東亜天文学会の山田義弘さんや水戸駅前で街角星空観望会をしている檜木梨花子さん、星景写真を撮影している大西浩次さんの発表がありました。

他のパネリストの発表も、横のつながりやネットワークの必要性を訴えるものでした。

その後の飲み会は前回の 2008 年の会と同様に大いに盛り上がりました。



図 1 同好会サミットの懇親会の様子
今回もまた大盛り上がり。

二日目にアマチュアネットワークの今後を考える有志の会議が開かれました。私が望んだとおり同好会サミットの後継イベントの自主開催が決定されたのみならず、アマチュア天文界のゆるやかな連帯を目的とする全国ネットワーク「日本天文愛好者連絡会」が成立するに至りました。

3. サミットを終えて雑感

このサミットは、私個人にとっても、参加者の皆さんにとっても、アマチュア天文界にとっても有益なものであったと感じております。私としては当日の発表の通り、サミットの後継イベントが出来あがればそれでいいと思っていました。アマチュア連合のような団体は「急がずに、機が熟してからでよいのでは」と当初、私は思っていました。なので、「日本天文愛好者連絡会」がああ場で成立したことは正直驚きでした。世界天文年で作られたネットワークの次世代への継承というのは恐らく、皆が思っていたことであり、他のパネリストの発表やディスカッションの場で

もその雰囲気は伝わりました。その勢いがこれ程までのものだったということでしょうか。これも世界天文年の成果の一つなのかもしれません。

そして、私もその日本天文愛好者連絡会の総務事務担当の一員となりました。これまで冬の陣を中心に学生のアマチュア天文コミュニティで活動をしてまいりましたが、今後は社会人も交えたネットワークを支えていく立場になります。アマチュア天文界の皆様、今後ともどうかよろしく願い申し上げます。

謝辞

まずは、天文同好会サミットの参加者の皆様に発表をお聞き頂けた事に対し感謝の意を表します。私の事をパネリストとして招待いただき、当日色々お世話になった実行委員の皆様にも重ねてお礼を申し上げます。

鈴木 隆之